

教科	数学	科目	数学A	学年	第2学年	講座	
単位数	2 単位	教科書	新 高校の数学A (数研出版)				
副教材	Study-Up ノート 数学 I + A 改訂版 (数研出版)						

目標	基礎・基本を定着させるとともに、数学的活動を通して、数学における基本的な概念や原理・法則の体系的な理解を深め、事象を数学的に考察し表現する能力を高め、創造性の基礎を培う。
----	---

		学習計画及び内容		考査
1 学 期	4月	第1章 場合の数と確率 第1節 順列・組合せ	集合、集合の要素の個数、和の法則・積の法則、順列、組合せ	第1回考査
	5月			
	6月	第2節 確率	事象と確率、確率の計算、独立な試行と確率、条件付き確率	第2回考査
	7月			
2 学 期	8月	第3章 整数の性質	約数と倍数、ユークリッドの互除法、方程式を満たす整数、2進法、分数と小数	第3回考査
	9月			
	10月	第2章 図形の性質 第1節 平面図形	図形の基本、角の二等分線と線分の比、三角形の外心、内心、重心	第4回考査
	11月			
12月	第2節 空間図形	空間の直線、平面、正多面体	第5回考査	
1月				
3 学 期	2月			
	3月			

学習の方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 予習として教科書の次時の授業で学習するところを読んでおく。</li> <li>・ 授業では、教科書の問題ができれば、自主的に問題集の同じ内容のところを解き、分からないところは質問する。</li> <li>・ 復習及び考査前学習としては、教科書・問題集を繰り返し解く。</li> <li>・ 1日あたりの家庭学習時間は、予習 10分、復習 30分を目安にすること。</li> </ul>
-------	---

	関心・意欲・態度	数学的な見方や考え方	数学的な技能	知識・理解
評価の観点	場合の数と確率、整数の性質及び図形の性質の考え方に興味をもつとともに、数学のよさを認識し、それらを事象の考察に活用しようとする。	事象を数学的に考察し表現したり、思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたことなどを通して、場合の数と確率、整数の性質及び図形の性質における数学的な見方や考え方を身に付けている。	場合の数と確率、整数の性質及び図形の性質において、事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。	場合の数と確率、整数の性質及び図形の性質における基本的な概念、原理・法則などを理解し、知識を身に付けている。

備考	
----	--